

委託業務処理要領

委託業務の処理にあたっては、委託契約書によるほか、この業務処理要領の定めるところにより、業務を処理しなければならない。

1 処理対象樹木等

- (1) 所 在 寿都郡寿都町字新栄町136番地 北海道寿都高等学校敷地内
- (2) 対象樹木数 57本 (内訳) トドマツ (33本)、シラカバ (11本)、シダレザクラ (13本)

2 処理内容

- (1) 伐採位置は地表面から10cmから20cm以内を基本とする。伐採位置の詳細については、事前に業務担当員と協議の上決定すること。伐採により転倒落下など周辺設備に被害を及ぼす恐れがある場合は吊るし伐り等の適切な処理を行うこと。また、伐採により隣接する樹木に損傷を与えた場合は、その樹木の伐採、枝払い又は、剪定を行うこと。
- (2) 樹木周辺の地面を損傷しないよう積雪が30cm以上の時に行うこと。
- (3) 業務により発生した伐採物処理については、受託者において寿都町が指定した処理場所(寿都町字樽岸町浜中167-1)に運搬すること。伐採した樹木を寿都町の木材チップ化事業に活用できるよう、当該処理施設で受け入れ可能な長さに切ること。
- (4) 周辺施設、設備等を損傷しないように十分注意すること。

3 工程関係

- (1) 業務時間は、午前8時30分から午後4時までを基本とし、その日の作業開始、終了について、業務担当員に口頭で報告すること。ただし、作業の進行状況によっては、業務担当員と協議の上、時間帯を調整するものとする。また、生徒や通行人及び付近住民の安全確保のため、業務時間を制限することがある。
- (2) この業務にあたり、公道等を使用する場合は、道路使用許可等の必要な手続き、架空線周辺での作業における関係機関(北海道電力・NTT・電気保安協会)への協議を行うこと。
- (3) 作業実施にあたって近隣住民からの苦情又は意見があったときは、丁寧に対応し、遅滞なく業務担当員に報告すること。

4 安全対策関係

- (1) 受託者は、労働安全衛生法等の関係法令を遵守し、常に作業の安全に注意して現場管理を行い、事故防止に努めなければならない。
- (2) 刈り取った枝葉は、地上に投げ落とすことは、原則として認めない。ただしやむを得ない事情があり、通行人に危害が及ぶ恐れがないよう安全対策した場合は、業務担当員の了解を得てやむを得ないものとする。
- (3) 通学時間等に作業する場合は、通行人が作業区域内へ侵入しないよう交通誘導員及びバリケードを設置するなど、安全対策を検討すること。
- (4) 作業実施中に事故等が発生した場合は、応急措置を講じ、遅滞なくその状況を委託学校長に報告するとともに、受託者の責任において処理するものとする。

5 現場管理

- (1) 伐採作業等にあたり、除雪等が必要な場所は、受託者において行うこと。
- (2) 剪定等作業等で発生した枝葉、残材、ゴミ等は、通行の支障とならないよう清掃を完全に行うこと。作業完了後は速やかに処分するものとする。
- (3) 業務実施者にはあらかじめ対象箇所の確認を十分行わせるものとし、施設の破損の防止を行うこと。

6 業務完了報告

- (1) 受託者は、業務が完了した際には、別記様式「実績報告書」を委託者へ提出すること。
- (2) 受託者は、作業箇所毎における施工前、安全対策、施工中及び施工後の記録写真(カラー撮影)を業務担当員へ提出すること。
- (3) 受託者は、寿都町からの受入証明書等を委託者へ提出すること。

7 その他

- (1) 各業務実施中は、作業員に身分証明書等を常時携帯させるものとし、業務担当員等学校関係者から提示を求められた場合は、身分証明書等を提示すること。
- (2) 業務に必要な除雪、機械、車両、人員及び消耗品については、受託者の負担とする。
- (3) その他この要領に定めのない事項、疑義が生じた場合は、業務担当員と協議すること。